



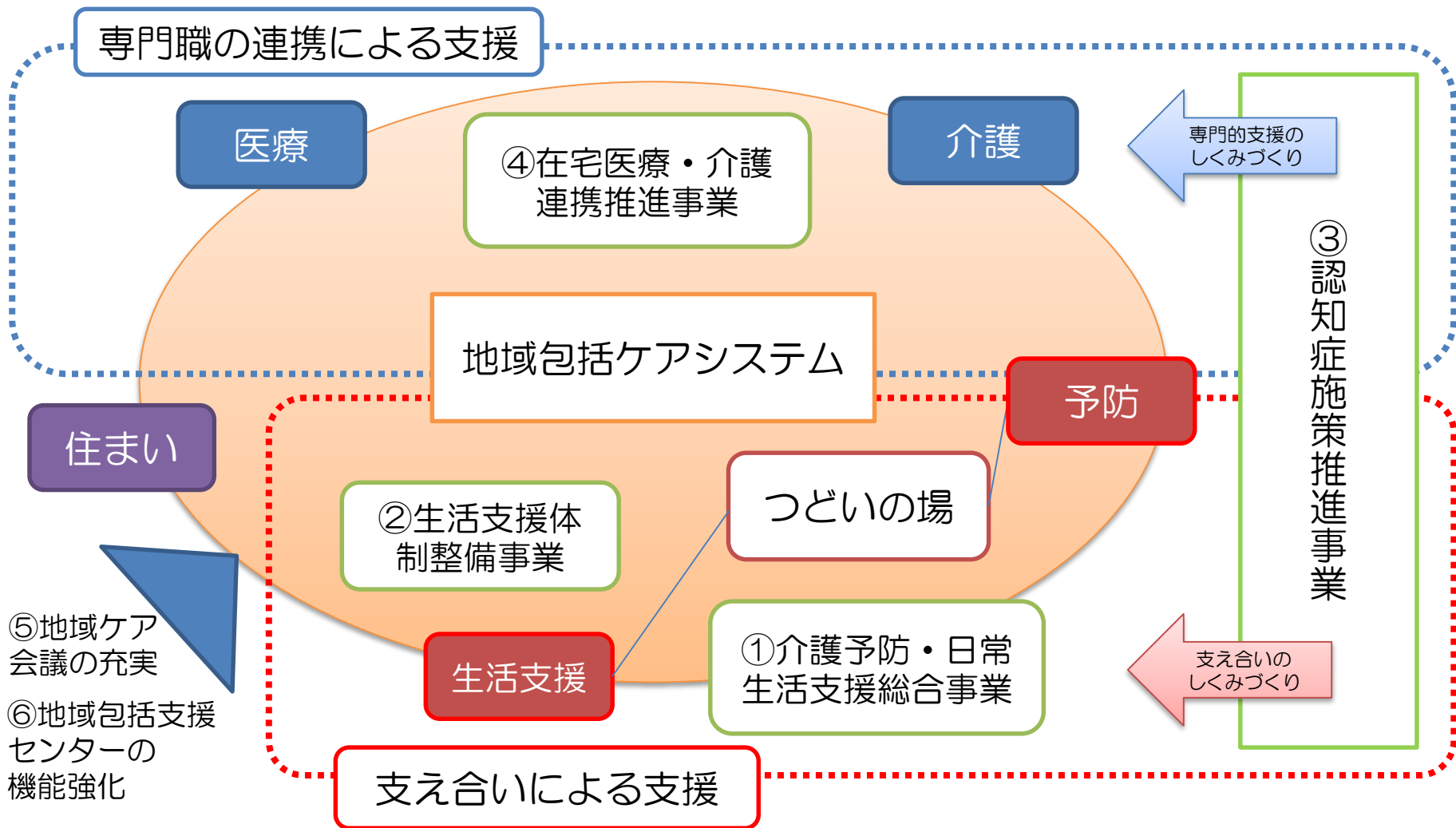
平成29年度第4回 日進市地域包括ケア検討会議

(1) 地域包括ケアシステム構築に向けた取組みについて

平成30年3月15日
日進市地域福祉課



日進市の地域包括ケアシステム





(1) 支え合いによる支援

- ①介護予防・日常生活支援総合事業
- ②生活支援体制整備事業
- ③認知症施策推進事業



日進市の高齢化等について



【統計数値】

平成30年1月末日時点

総人口：89,992名

高齢者人口：17,800名、高齢化率：19.8%

①前期高齢者：9,265名（10.3%）、②後期高齢者：8,535名（9.5%）

【要介護等認定者数】※第2号被保険者含む

区分	人数	構成比
事業対象者	79名	2.9%
要支援1	417名	15.3%
要支援2	478名	17.5%
小計	974名	35.7%
要介護1	504名	18.5%
要介護2	425名	15.6%
要介護3	275名	10.1%
要介護4	305名	11.2%
要介護5	243名	8.9%
小計	1,752名	64.3%
合計	2,726名	100.0%



【総合事業対象者】

区分	人数	移行率
事業対象者	79名	—
要支援1	417名	100.0%
要支援2	478名	
合計	974名	—

【要支援1・2】

新規（平成28年10月1日以降申請分）

更新（平成28年10月～8月更新分）

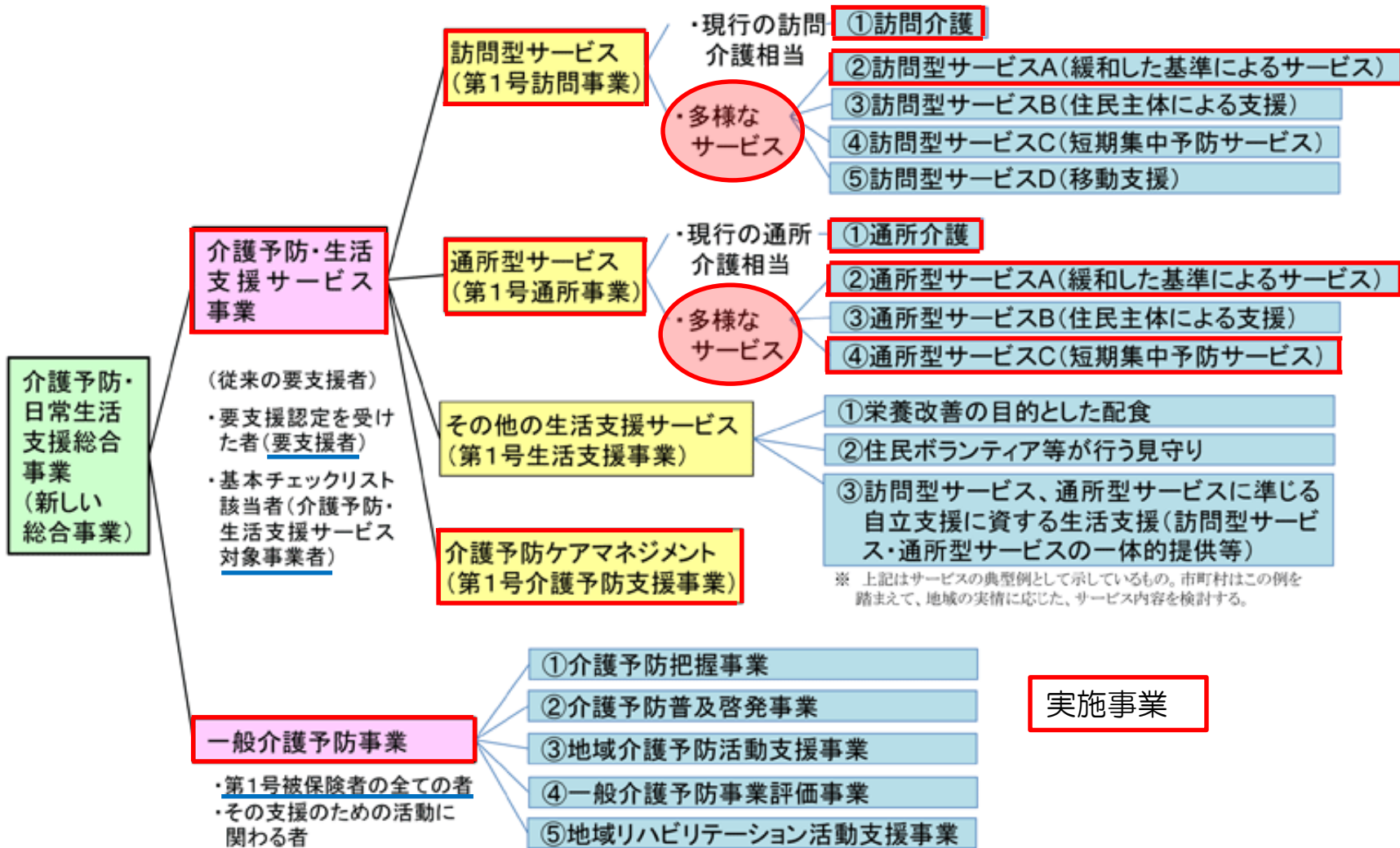
※従来の要支援者は全て移行済

【事業対象者】

新規（平成29年10月1日以降申請分）



①介護予防・日常生活支援総合事業について



※ 上記はサービスの典型例として示しているもの。市町村はこの例を踏まえて、地域の実情に応じた、サービス内容を検討する。

実施事業

出典「介護予防・日常生活支援総合事業ガイドライン」



介護予防・生活支援サービス事業について

(訪問型サービス・通所型サービス)



国のガイドライン類型		実施時期	サービス提供者	実施方法
訪問型サービス	<u>現行の訪問介護相当</u> (現行相当サービス)	平成28年10月から	指定事業者 (みなし指定・新規指定)	事業者指定
	<u>訪問型サービスA</u> (緩和した基準によるサービス)	平成28年10月から	指定事業者 (新規指定)	事業者指定
	訪問型サービスB (住民主体による支援)	検討中	—	—
	訪問型サービスC (短期集中予防サービス)	検討中	—	—
	訪問型サービスD (移動支援)	検討中	—	—

国のガイドライン類型		実施時期	サービス提供者	実施方法
通所型サービス	<u>介護予防通所介護相当サービス</u> (現行相当サービス)	平成28年10月から	指定事業者 (みなし指定・新規指定)	事業者指定
	<u>通所型サービスA</u> (緩和した基準によるサービス)	平成28年10月から	指定事業者 (新規指定)	事業者指定
	通所型サービスB (住民主体による支援)	検討中	—	—
	<u>通所型サービスC</u> (短期集中予防サービス)	平成28年10月から	委託事業者	委託



①-1：訪問型サービスの利用状況

(1) サービス利用者数（平成29年12月利用分）

区分	利用者数	構成比
①現行型サービス	73名	36.3%
②A型サービス	128名	63.7%
合計（※）	200名	100.0%

サービス利用者の6割強がA型サービスに移行

- ・指定事業者数：11事業所（11事業所）
 - ・生活支援サポーター養成数：47名（45名）
- ※（ ）内は平成29年12月1日時点数値

※①②の併用利用1名有

(2) サービス費用（平成30年1月審査分・償還払分）

平成29年度	予防給付費	事業費	合計	構成比	対前年比
①現行型サービス費	11,265円	1,539,907円	1,551,172円	60.6%	-1,763,643円
②A型サービス費	—	1,007,253円	1,007,253円	39.4%	928,844円
合計	11,265円	2,547,160円	2,558,425円	100.0%	-834,799円

※総合事業移行については、平成29年9月利用分より全ての方が移行

前年度サービス費用を
通常の伸び率
+約25%削減

【参考】（平成29年1月審査分・償還払分）

平成28年度	予防給付費	事業費	合計	構成比
①現行型サービス費	2,739,608円	575,207円	3,314,815円	97.7%
②A型サービス費	—	78,409円	78,409円	2.3%
合計	2,739,608円	653,616円	3,393,224円	100.0%

※総合事業移行については、平成28年10月より3ヶ月の方が移行



①-2：通所型サービスの利用状況

(1) サービス利用者数（平成29年12月利用分）

区分	利用者数	構成比
①現行型サービス	133名	44.3%
②A型サービス	167名	55.7%
合計	300名	100.0%

サービス利用者の**5割強がA型サービスに移行**

・指定事業者数：14事業所（14事業所）

※（ ）内は平成29年12月1日時点数値

(2) サービス費用（平成30年1月審査分・償還払分）

平成29年度	予防給付費	事業費	合計	構成比	対前年比
①現行型サービス費	—	3,827,996円	3,827,996円	62.7%	—3,184,328円
②A型サービス費	—	2,272,750円	2,272,750円	37.3%	2,212,900円
合計	—	6,100,746円	6,100,746円	100.0%	—971,428円

※総合事業移行については、平成29年9月利用分より全ての方が移行

前年度サービス費用を
**通常の伸び率
+約15%削減**

【参考】（平成29年1月審査分・償還払分）

平成28年度	予防給付費	事業費	合計	構成比
①現行型サービス費	5,535,869円	1,476,455円	7,012,324円	99.2%
②A型サービス費	—	59,850円	59,850円	0.8%
合計	5,535,869円	1,536,305円	7,072,174円	100.0%

※総合事業移行については、平成28年10月より3ヶ月の方が移行

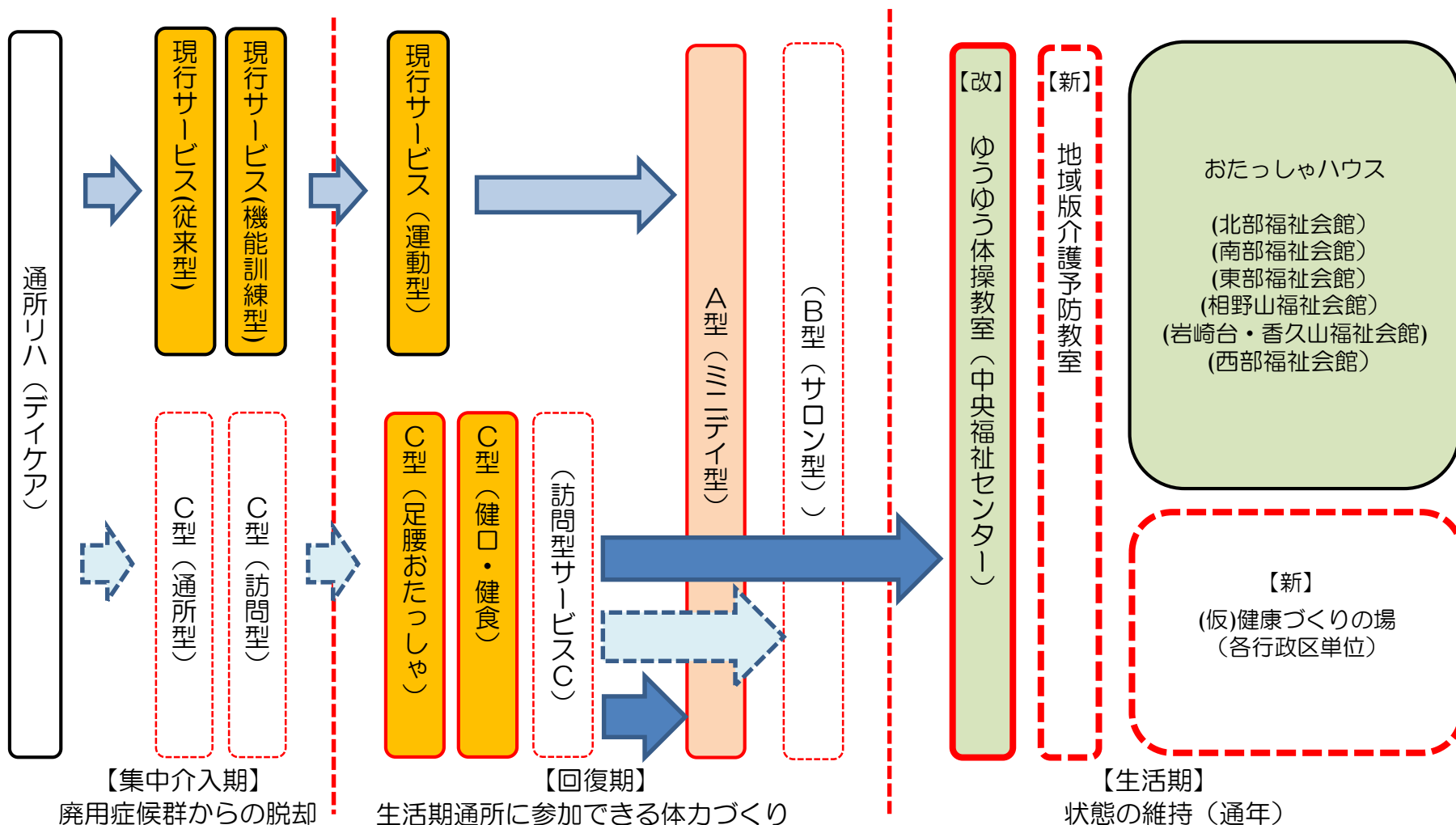


②一般介護予防事業に係る体制整備について



<介護予防・生活支援サービス事業>

<一般介護予防事業>





②一般介護予防事業（運動器の機能向上・維持）



○ゆうゆう体操教室（運動器の機能向上・維持）

理学療法士や愛知県介護予防リーダー講師による体操教室で、運動器の機能向上・維持を図ります。

日 程：原則、毎月第1～4金曜日 午前10時から11時頃

対 象：日進市在住の高齢者

登録者：88名（平成30年3月15日現在）

会 場：日進市中央福祉センター多機能室

講 師：①1週目…理学療法士（リハメール日進）

②2週目…介護予防リーダー（中部圏域）

③3週目…介護予防リーダー（東部圏域）

④4週目…介護予防リーダー（西部圏域）

内 容：準備体操（約5分）：にっしん体操（ゆったり版）

共通メニュー（約30分）：ストレッチ・軽運動メニュー

休 憩（約5分）

独自メニュー（約10分）：棒体操、認知症予防メニュー等

※教室内容の充実検討（多様なメニューの作成、教室従事者への講習実施予定）



ゆうゆう体操の様子

○地域版介護予防教室（運動器の機能向上維持）

各日常生活圏域において、理学療法士等講師による体操教室で、運動器の機能向上・維持を図ります。

【西部地区】日進ホームを会場に施行実施（平成30年3月7日）

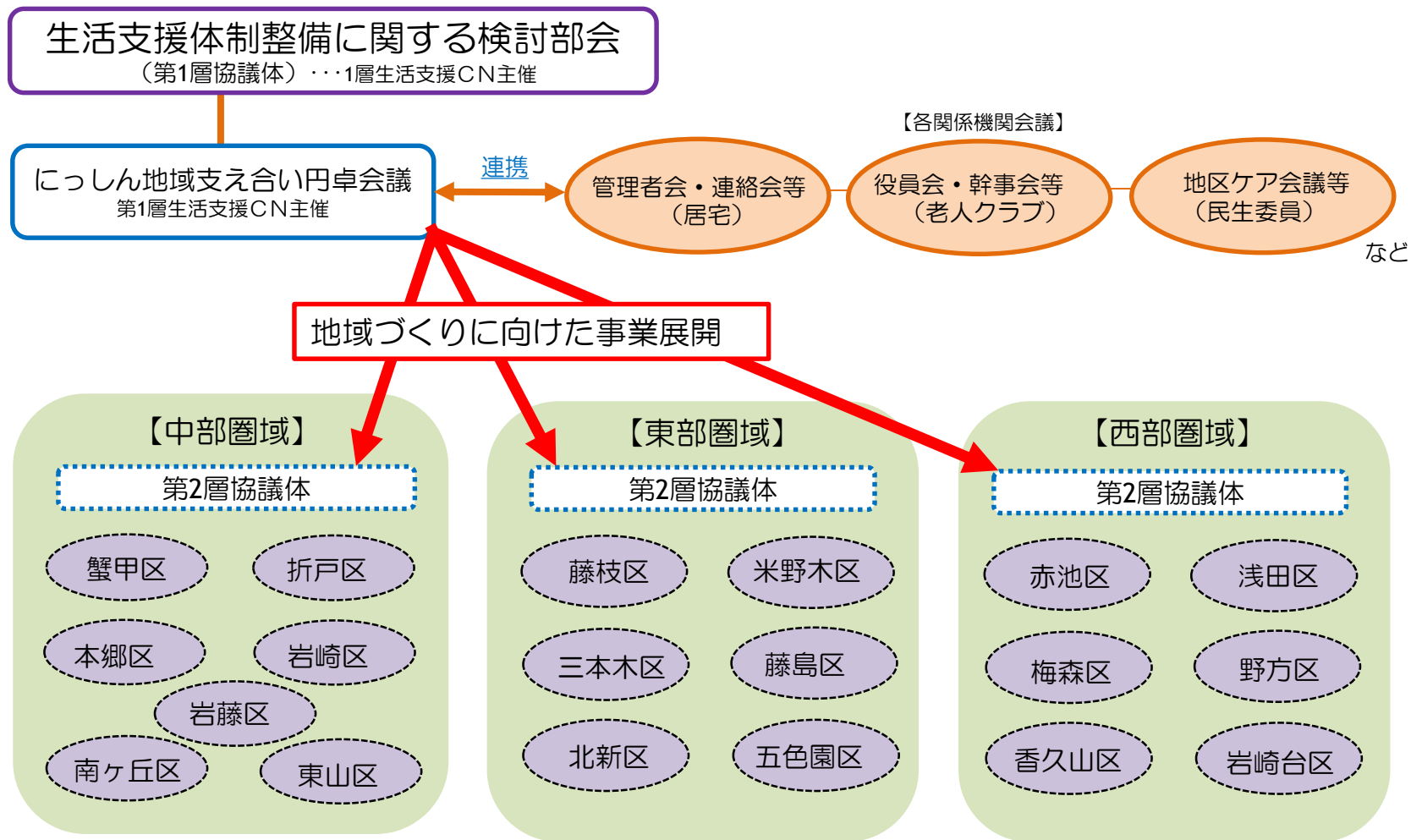
平成30年4月からの本実施に向けて準備（月1回からスタート）

【東部地区】検討中



②生活支援体制整備事業について

—事業推進に向けた展開イメージ—





③認知症施策推進事業について

—認知症地域支援・ケア向上事業—



○認知症地域支援・ケア向上事業

平成30年4月から認知症地域支援推進員を配置し、医療・介護等の連携強化による、地域における支援体制の構築と認知症ケアの向上を図る。

(1) 認知症の人を支援する関係者の連携促進

- ・関係者とのネットワーク構築（地域包括・医療機関・介護事業者・地域支援者等）
- ・認知症ケアパスの作成・普及
- ・地域包括への対応力向上のための支援

(2) 認知症の人とその家族を支援する相談体制や支援体制の構築

- ・相談支援
- ・認知症初期集中支援チームとの連携（サービス調整等）

(3) 事業実施に関する企画

- ・病院・施設等での認知症対応力向上を図るための支援事業
- ・事業所等での在宅生活継続のための相談・支援事業
- ・認知症の人の家族に対する支援事業
 - ⇒認知症家族交流会、認知症カフェ等の充実
- ・認知症ケアに携わる多職種協働のための研修事業

新たに設置する関係機関（認知症初期集中支援チーム、在宅医療・介護連携支援センター）や既存関係機関（地域包括支援センター等）と連携し、認知症支援・ケア向上に係る体制強化を図る。



③認知症施策推進事業について

—家族介護支援—



○認知症家族交流会

認知症のご家族を介護されている方を対象に、介護知識の取得や仲間づくりを目的に開催。

- ①日程：毎月第2水曜日 午後1時30分～同3時30分
- ②会場：日進市中央福祉センター
- ③参加者数：延べ71名（平成29年4月～平成30年2月）
- ④運営：認知症の人と家族の会愛知県支部スタッフ

○認知症家族支援プログラム

認知症のご家族を介護されている方を対象に、介護知識の取得や仲間づくりを目的に開催。

- ①日程：平成29年10月3日～平成30年2月6日（全6回講座）
- ②会場：日進市中央福祉センター
- ③参加者数：13名（うち4名の方が認知症家族交流会へ参加）
- ④講師：認知症の人と家族の会愛知県支部スタッフ等

○認知症カフェ

認知症家族交流会の一環で、家族介護者の息抜きを中心としたケアラズカフェを開催。

- ①日程：平成30年3月14日 午前10時30分～午後3時
- ②会場：日進市中央福祉センター
- ③参加者数：30名

【常設型認知症カフェの検討】

認知症当事者（本人・家族等）が定期的集える場として、認知症理解・対応力のある地域密着型サービス事業所にて施行的に実施（平成30年3月28日）





(2) 専門職の連携による支援

③認知症施策推進事業

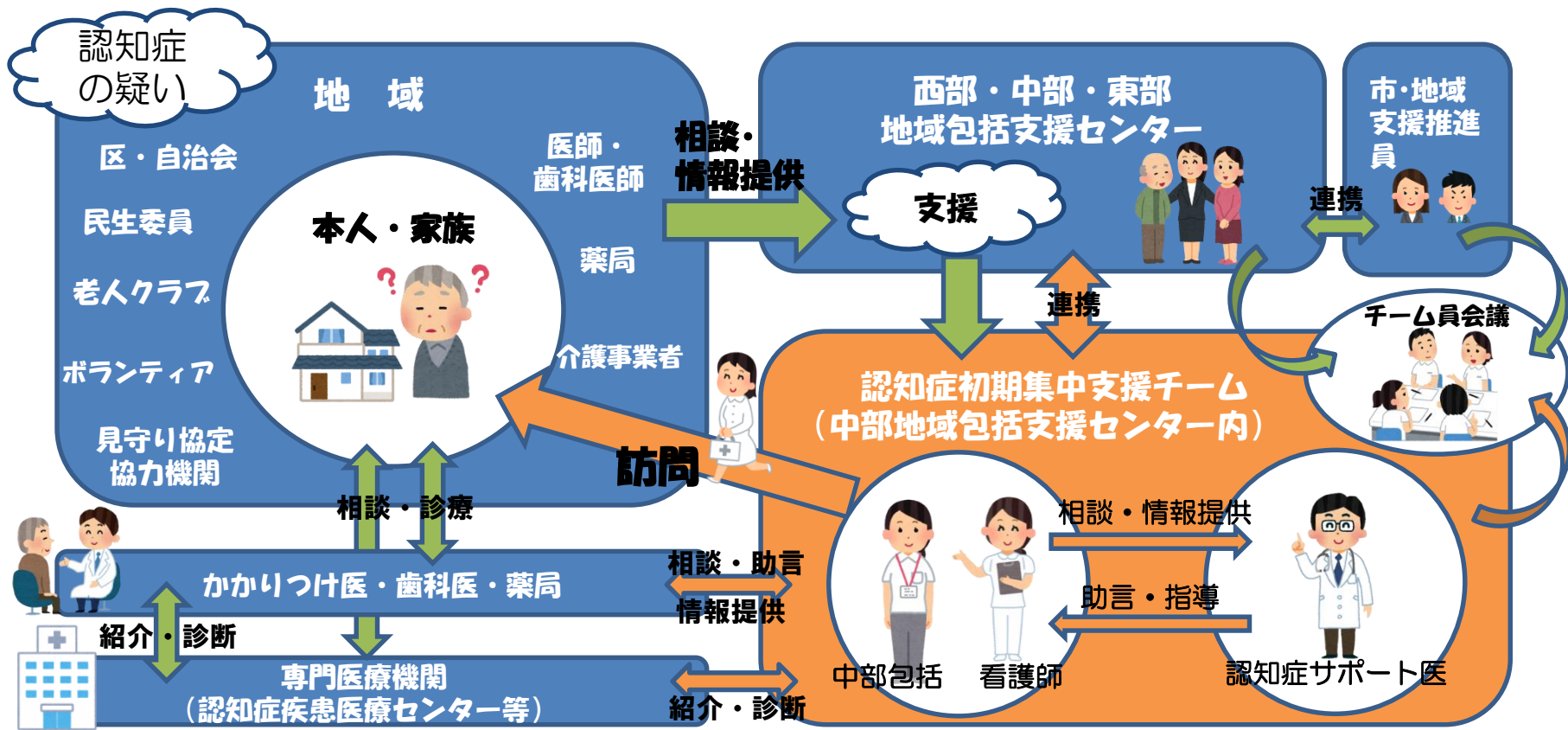
④在宅医療・介護連携推進事業



日進市認知症初期集中支援チーム



- ◆早期診断・早期対応に向けた支援体制を構築することを目的とする。
- ◆複数の専門職が家族の訴え等により認知症が疑われる人や認知症の人及びその家族を訪問し、アセスメント、家族支援などの初期の支援を包括的、集中的（おおむね6ヶ月）に行い、自立生活のサポートを行う。





在宅医療・介護連携推進事業の8つの取組について



- (ア) 地域の医療・介護の資源把握
- (イ) 在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討
- (ウ) 切れ目のない在宅医療と在宅介護の提供体制の構築
推進
- (エ) 医療・介護関係者の情報共有の支援
- (オ) 在宅医療・介護連携に関する相談支援
- (カ) 医療・介護関係者の研修
- (キ) 地域住民への普及啓発
- (ク) 在宅医療・介護連携に関する関係市町村の連携



(工) 医療・介護関係者の情報共有の支援



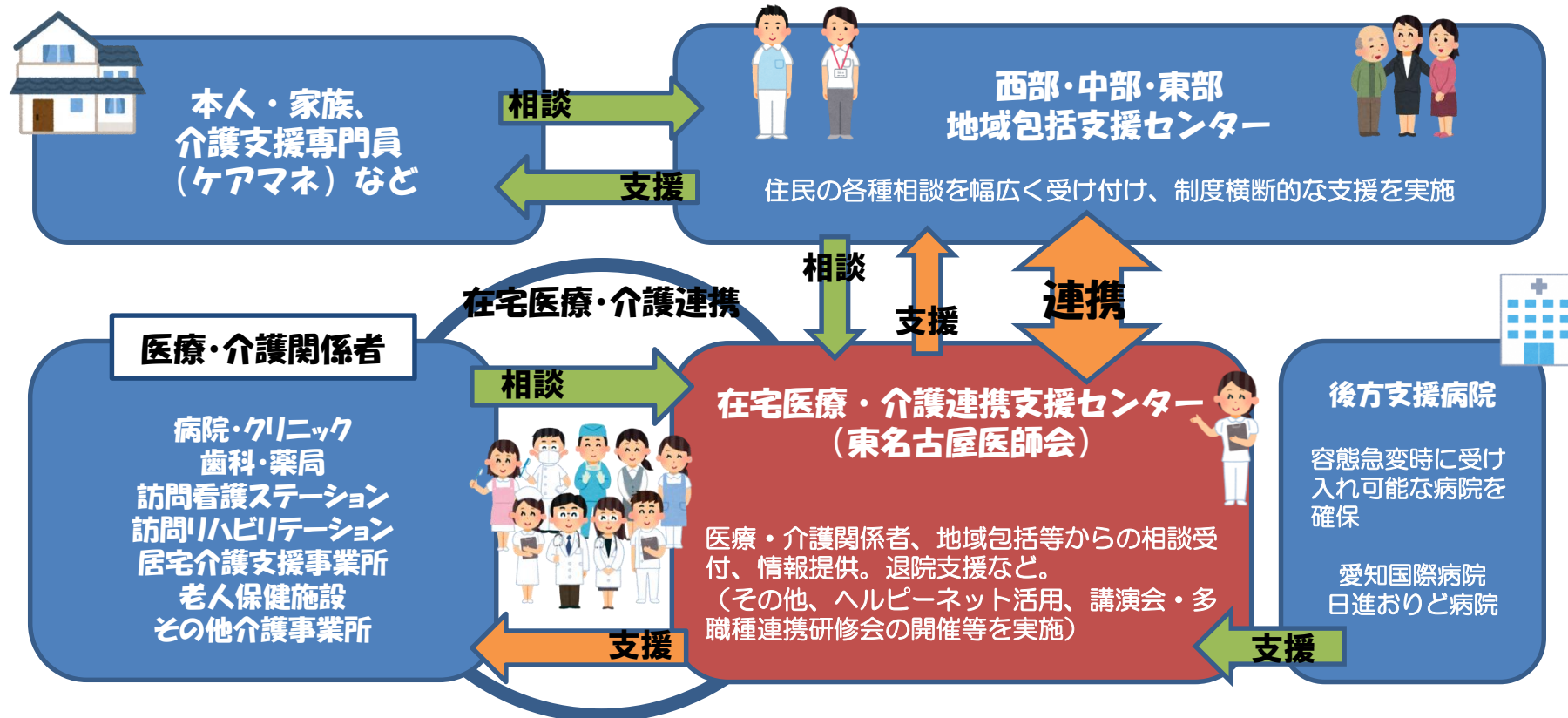
電子@連絡帳導入実績 (尾張東部医療圏)		(平成30年2月19日 東名古屋医師会在宅医療サポートセンター調べ)				
ネットワーク名	豊明市 いきいき笑顔ネットワーク	長久手市 愛・ながくて夢ネット	日進市 健やかにっしん・ヘルピーネット	東郷町 レガッタネットとうごう	瀬戸旭医師会 瀬戸旭もーやっこネットワーク	
管内人口(12月1日現在)	68,869人	56,502人	88,955人	43,314人	213,436人	
運用開始年月	平成23年10月	平成24年9月	平成28年2月	平成27年12月	平成26年4月	
時点	1月末現在	1月末現在	1月末現在	1月末現在	1月末現在	
登録機関	167機関	127機関	103機関	63機関	331機関	
登録ID	336人	184人	179人	97人	627人	
登録患者数	641人	407人	59人	30人	849人	
記事の累積	12,750件	18,437件	783件	1,018件	22,548件	
登録患者1人当たりの記事数	20件	46件	13件	34件	27件	
主な登録機関の内訳	クリニック・病院 登録数/総機関数(導入率)	31/38(82%)	33/35(92%)	21/59(36%)	19/23(83%)	54/116(47%)
	歯科医院	11/30(37%)	5/24(21%)	32/46(70%)	7/17(41%)	21/103(20%)
	薬局	19/25(76%)	9/18(50%)	21/35(60%)	7/13(54%)	36/107(34%)
	訪問看護ステーション	17(市内100%)	14(市内100%)	5(市内80%)	4/4(100%)	21/21(100%)
	地域包括支援センター	3/3(100%)	2/2(100%)	3/3(100%)	2/2(100%)	8/8(100%)
	居宅介護支援事業所	27(市内100%)	10(市内100%)	13(市内72%)	9/10(90%)	56/59(95%)
	訪問介護(ヘルパー)	2/5(40%)	8(市内55%)	0/19(0%)	2/6(33%)	31/72(43%)



(才) 在宅医療・介護連携に関する相談支援 日進市在宅医療・介護連携支援センター



- ◆地域の在宅医療と介護の連携を支援する相談窓口の運営を行い、地域の医療・介護関係者、地域包括支援センター等からの、在宅医療、介護サービスに関する事項の相談の受付を行う。
- ◆必要に応じて、退院の際の地域の医療関係者と介護関係者の連携の調整や、利用者・患者又は家族の要望を踏まえた、地域の医療機関・介護事業者相互の紹介を行う。





(力) 医療・介護関係者の研修①



在宅医療・介護連携多職種連携研修（会場：中央福祉センター多機能室）

講師：国立長寿医療研究センター在宅連携医療部

千葉県松戸市「いらはら診療所」在宅医療部長 和田 忠志 氏

<平成28年度>

第1回 講演「①在宅医療が果たすべき役割」

意見交換：「認知症支援の課題とその解決策」

日時：平成29年2月15日（水）午後1時30分から

参加者：51人

医師：6人 歯科医師：1人 薬剤師：4人 看護師：5人

介護職：32人 その他：3人



<平成29年度>

第1回 講演「②在宅医療における知っておくべき報酬や制度」

意見交換：「在宅医療・介護連携推進に向けて」

日時：平成29年4月30日（日）午後1時30分から

参加者：31人

医師：3人 歯科医師：6人 薬剤師：4人 看護師：3人

介護職：11人 その他：4人

第2回 講演「③在宅ケアにおいてなぜ多職種連携が必要なのか」

意見交換「在宅医療を推進する上での課題とその解決策」

日時：平成29年7月30日（日）午後1時30分～

参加者：27人

医師：2人 歯科医師：4人 薬剤師：8人 看護師：1人

介護職：9人 その他：3人





(力) 医療・介護関係者の研修②



在宅医療・介護連携多職種連携研修（会場：中央福祉センター多機能室）

平成29年度第3回

講演：口腔管理の重要性 ～多職種連携だからできること～

講師：名古屋記念病院 摂食・嚥下障害看護認定看護師

岩崎 美樹 氏

意見交換：自分の職種として何ができるか

～各職種に求められる連携～

日時：平成29年12月21日（木）午後2時～

参加者：38人

医師：2人

歯科医師：3人

薬剤師：4人

介護職：27人

その他：2人





(キ) 地域住民への普及啓発



地域出前講座

テーマ：「認知症になっても住み慣れた家で安心して暮らすには」
地域への出前講座（市内19行政区において順次開催）

- ①五色園 日時：平成29年2月4日（土）午後1時30分～
講師：金山和広先生（金山クリニック院長）
場所：五色園第1集会所
参加者：56名
- ②南ヶ丘 日時：平成29年3月18日（土）午後1時30分～
講師：宮川浩一先生（宮川クリニック院長）
場所：南ヶ丘会館
参加者：42名
- ③東山 日時：平成29年10月14日（土）午後1時30分～
講師：恒川敬和先生（つねかわファミリークリニック院長）
場所：日東東山コミュニティセンター
参加者：76名
- ④北新町 日時：平成30年3月10日（土）午後1時30分～
講師：伊藤志門先生（アガペクリニック院長）
場所：北新町公民館
参加者：38名





(3) 地域ケア会議

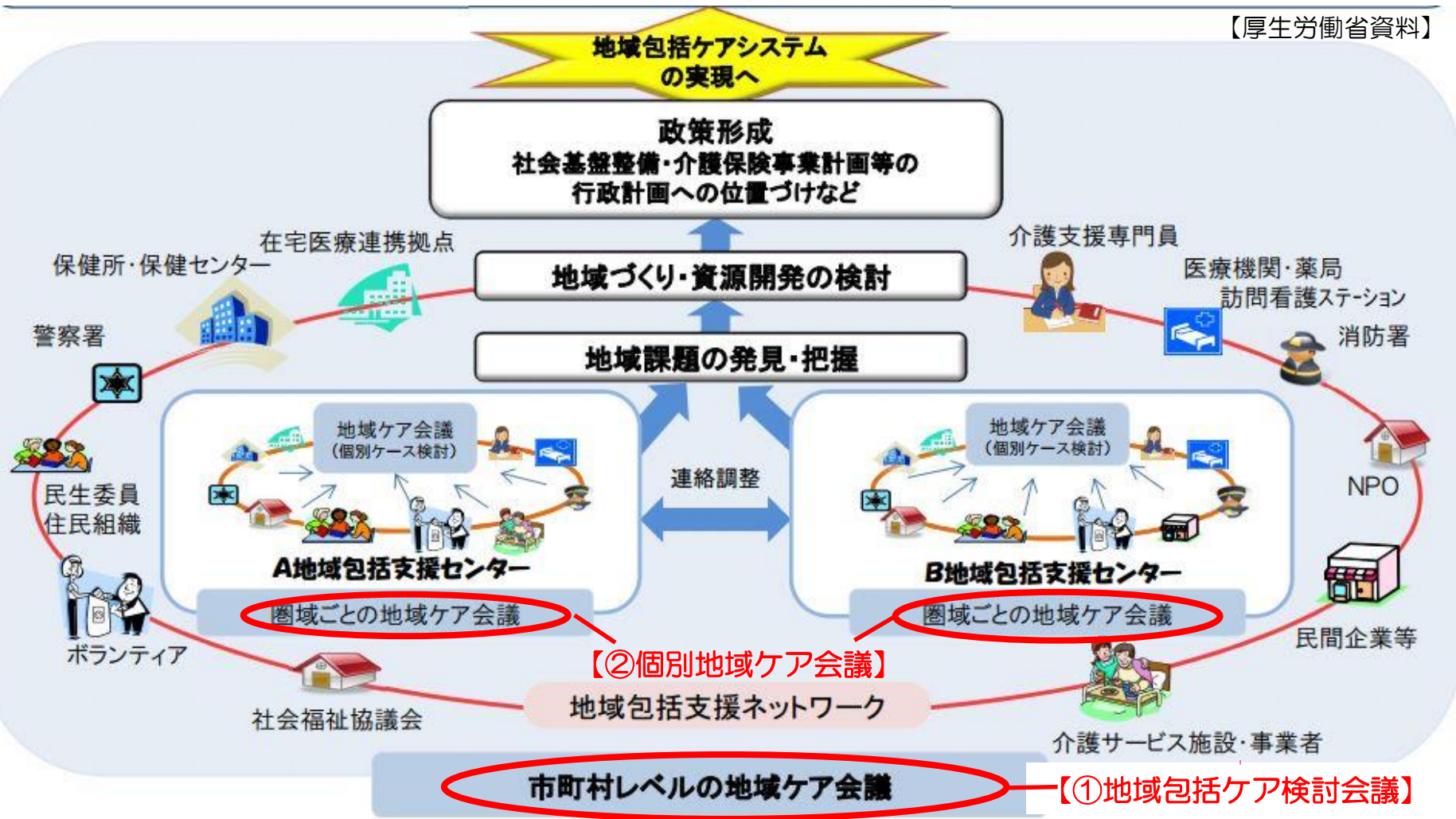
個別地域ケア会議 (中部地区)
(東部地区)
(西部地区)



地域ケア会議の位置づけ



【厚生労働省資料】





個別地域ケア会議（中部地区）開催状況



平成30年3月15日現在

	開催回数	主な対象者		
		要介護	要支援	その他
中部地区	9回	7件	2件	0件

連番	テーマ	対象者		
		要介護	要支援	その他
1	日常生活支援と見守り体制について	○		
2	地域で安全に生活するために	○		
3	認知症、徘徊がある方の在宅介護支援、今後について	○		
4	難聴と認知症がある一人暮らしの高齢女性の地域での生活を継続させるために		○	
5	行方不明リスクのある高齢者が地域で安全に暮らし続けるために	○		
6	地域での一人暮らしを支えるために	○		
7	在宅生活継続のための見守りや支援を検討する	○		
8	経済困窮状態にある高齢者が地域で安全に暮らし続けるために	○		
9	地域で安心安全に楽しく一人暮らしを続けたために		○	



個別地域ケア会議（東部地区）開催状況



平成30年3月15日現在

	開催回数	主な対象者		
		要介護	要支援	その他
東部地区	12回	4件	6件	2件

連番	テーマ	対象者		
		要介護	要支援	その他
1	認知症状のある高齢者世帯が住み慣れた地で生活を続けていくには		○	
2	近くに親族がなく心臓疾患があり不安を抱えながら生活している高齢者を支えるには		○	
3	誤った情報を地域に提供し、地域住民を混乱させてしまう高齢者を地域で支えるには		○	
4	制度の理解ができず、関係機関へ一方的な苦情相談をする方の対応		○	
5	幻覚があり負担症状の大きい一人暮らしの高齢者を支えていくには		○	
6	被害妄想が強く独居への不安が増している高齢者を支えていくには	○		
7	妄想性障害（被害妄想がある）により妄想が拡大する高齢者を支援するには			○
8	近隣者に対して問題行動をとることで、地域から孤立している独居の方を支えるには			○
9	近くに親族がなく、透析を受けながら一人暮らしを送る高齢者を地域で支えるには		○	
10	長男からの暴言や監視により自由がなくなった高齢者を地域で支えるには	○		
11	一人暮らしに不安を抱えている方を地域で支えていくには	○		
12	夫の束縛から精神不安定となってしまった認知症高齢者を地域で支えていくには	○		



個別地域ケア会議（西部地区）開催状況



平成30年3月15日現在

	開催回数	主な対象者		
		要介護	要支援	その他
西部地区	9回	7件	1件	1件

連番	テーマ	対象者		
		要介護	要支援	その他
1	子がおらず親族の支援も望めない高齢者世帯を地域で支える	○		
2	認知症のある母親と精神疾患のある長男の支援	○		
3	徘徊がある母と息子の生活を支えていくには	○		
4	キーパーソン不在の高齢者世帯の支援①	○		
5	他市から転居し地域とのつながりが薄い一人暮らし高齢者を支える		○	
6	徘徊症状のある高齢者、同居家族が地域とのかかわりが薄いケースの支援	○		
7	不安の強い一人暮らし高齢者の支援			○
8	不安、訴えの強い一人暮らし高齢者への支援～地域、関係者の連携強化～	○		
9	キーパーソン不在の高齢者世帯の支援②	○		